

現在の研究所各調査及び研究課題のとりまとめ

□ホクレン委託事業に係る現地調査

(一〇月二日・二〇日、十一月一九日・二八日)

研究者と同行して、受託課題に係る現地調査を行いました。

□農業公社委託事業に係る現地調査

(一〇月五日、十一月三〜一六日)

研究者による行程にて、受託課題に係る現地調査を行いました。

□北農五連委託事業に係る現地調査

(一〇月九日・二三日、十一月六日・八日、十一月二三日・

一五日・二二日・二七日・二九日、十二月四〜六日)

今年度受託した課題について、研究者と同行して現地調査を行いました。

□北海道農業公社委託事業研究班会議

(一〇月一〇日、十一月一六日、十二月二日)

今年度受託した課題について、研究者が同席して研究班会議を開催しました。

□JAカレッジ委託事業研究班会議

(一〇月二日)

今年度、JAカレッジから受託した課題について、研究者が同席して打ち合わせを行いました。

□自主研究「六次産業化・農商工連携の展開と農畜産物・食料

市場のニューウェーブに関する調査研究」研究班会議

(一〇月二四日)

研究者が同席して、研究班会議を開催しました。

□北海道豆類価格安定基金協会委託事業に係る現地調査

(一〇月二五日)

今年度受託した課題について、研究者と同行して現地調査を行いました。

□農研機構生研支援センター委託事業に係る現地調査

(一〇月二九日、十一月四日)

ホクレン・十勝農試とのコンソーシアムで契約している研究事業の、現地調査を行いました。

□北農五連委託事業研究班会議

(一〇月三〇日・三十一日、十一月一七日・二六日・二七日)

今年度、北農五連から受託した課題について、研究者が同席して打ち合わせを行いました。

□自主研究「准組合員問題に関する調査研究」に係る現地調査

(十一月九日)

研究者と同行して、現地調査を行いました。

□北海道豆類価格安定基金協会委託事業に係る研究班会議

(十一月二〇日)

今年度受託した課題について、研究者が同席して研究班会議を開催しました。

□モニター会議の開催

(十一月三〇日)

農業者の生の声を聞かせて頂くことでタイムリーな地域の情報を収集して、情勢の変化に的確に対応した調査研究を推進する為に、農業者モニター六名の出席により、モニター会議を開催しました。

会議の中で、北海道大学経済学部宮入隆教授に、「これからの北海道農協の取り組み課題―第二九回JA北海道大会を踏まえて―」という演題でご講演頂きました。

会議の内容は、今号の「研究所だより」に掲載しています。



11月30日 モニター会議

□農研機構生研支援センター委託事業に係る研究推進班会議

(十二月五日)

ホクレン・十勝農試とのコンソーシアムで契約している研究

事業の、研究推進会議を行いました。

□ 自主研究「消費者交流事業の展開とその効果」研究班会議

(二月五日)

研究者が同席して、研究班会議を開催しました。

□ 「第六六回日本農村生活研究大会 in 北海道」への参加

(二月八日・九日)

大会は、農村生活の建設に奮闘した先人たちの足跡を振り返り、未来に向けた農村づくりについて研究すること、として開催されました。



12月5日 自主研究：消費者交流事業研究班会議

□ ホクレン委託事業：中間検討会

(二月一〇日)

今年度、ホクレンから受託した課題について、中間検討会を行いました。

□ 北海道豆類価格安定基金協会委託事業に係る中間報告会

(二月三日)

今年度受託した課題について、研究者が同席して中間報告会を開催しました。

□ JAカレッジ委託事業最終報告会

(二月一八日)

今年度、JAカレッジから受託した課題について、研究者が同席して報告会を行いました。

□ 北農五連委託事業報告会

(二月二七日)

今年度、北農五連から受託した課題について、研究者が同席して報告会を行いました。

平成二八年度の出版助成事業対象書籍が、JA研究表彰奨励事業のJA研究賞に選定されましたので、改めて紹介します。

「北海道から農協改革を問う」

筑波書房：三、〇〇〇円＋税

編著者 小林国之准教授

(北海道大学)

